

2026 年 9 月 24 日

各 位

会 社 名 積水化成品工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 古林 育将
 (コード番号 4 2 2 8 東証プライム)
 問合せ先 取締役専務執行役員
 コーポレート戦略本部長 佐々木 勝巳
 (TEL. 03-3347-9618)

サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結に関するお知らせ

当社は、昨年 9 月 30 日に実行した株式会社三菱 UFJ 銀行をアレンジャーとする当初契約金額 60 億円のシンジケートローンについて、サステナビリティ・リンク・ローン(以下「本ローン」といいます。)への契約変更を本日、締結しましたので、お知らせいたします。

本ローンは、借り手のサステナビリティ戦略と整合した目標を設定し、その達成状況を融資条件と連動させることにより、目標達成に向けた取り組みを促進する融資です。本ローンでは、当社グループ全体の GHG(CO2)排出量削減率を KPI として設定しています。具体的には、2030 年度に Scope1 および Scope2 の排出量を 2018 年度比 45%削減すること、ならびに 2026 年度から 2029 年度までの各年度に設定したマイルストーン SPT を達成することを目標としています。

当社グループは、「人と地球を大切に、新たな価値を創造するニューケミカル・ソリューション・カンパニー」をコーポレートビジョンに掲げ、「持続可能社会への貢献」と「持続的な企業価値向上」の両立を目指しています。その実現に向け、従来の 3R (Reduce, Reuse, Recycle)に、当社グループ独自の技術や発想を生かした 2R(Replace, Re-create)を加えた「SKG-5R (SEKISUI KASEI Group-5R)」を推進しています。

当社は、本ローンの実行を通じて、サステナビリティ目標の達成に対するコミットメントを一層明確にするとともに、脱炭素化に向けた取り組みと SKG-5R の実践を加速してまいります。今後も SKG-5R を通じて、お客様や社会が直面する環境・資源・気候変動等の課題に対し、化学素材メーカーとしての技術と発想でソリューションを提供し続けてまいります。また、SDGs に掲げられた地球規模の課題解決に貢献し、持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指してまいります。

【本ローンの概要】

当初実行日	2025 年 9 月 30 日	本件契約締結日	2026 年 9 月 24 日
当初組成金額	60 億円	現在残高	51 億円
KPI	積水化成品工業グループ全体の GHG(CO2)排出量削減率(Scope1+2、2018 年度比)		
SPT	2030 年度に 2018 年度比 45%削減、および 2026 年度から 2029 年度までの各年度のマイルストーン SPT を達成		

※1 本ローンは、2025 年 8 月 25 日付で公表しました「財務上の特約が付されたシンジケートローン契約の締結に関するお知らせ」におけるトランシェ B(60 億円)を指しております。

※2 本ローンについては、株式会社格付投資情報センター(R&I)より、サステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠性および設定した SPT の合理性について第三者意見を取得しています。

【貸付人】

株式会社三菱 UFJ 銀行、株式会社みずほ銀行、農林中央金庫、株式会社りそな銀行、株式会社三井住友銀行、株式会社南都銀行、株式会社滋賀銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社群馬銀行

以 上